

生活

自転車損害賠償保険加入義務の促進を

まずは交通マナーの向上

問

昨今、高齢者の自動車事故が多発しています。クルマは走る凶器ともいわれ、事故になれば自動車保険で賠償します。自転車にも同じように保険がありますが、義務化されておらず、未加入者が多い現状です。

国土交通省は自転車事故による損害賠償制度の在り方を協議する検討会を設置し、当

面は全国の自治体による条例制定をサポートしていく方針を決めました。国も保険加入を義務付ける条例制定を後押ししています。

町長のご見解を伺います。

答 平松町長

保険制度の加入促進よりも、まずは事故を起こさないための普及啓発活動をやった上で、こういう保険があるということであれば町も積極的に考えたいと思っています。保険義務化については、町が条例を制定することは可能だと思いますが、それがマナーが変わるのかについては疑問です。まずやらなければいけないことは保険加入の促進ではなく、自転車に乗る人の交通マナーをきちんと守らせることだと考えています。

今後、その点も踏まえて、特に小学生や中学生に対する自転車の交通マナーキャンペーン等を計画し、総務課交通安全係や町広報で普及啓発活動に取り組んでいきたいと思っています。



交通マナーを守ろう

答弁中の平松町長



白水 春夫 議員

産業

みそ事業の今後は

関係者と協議し判断

問

自然食普及センターみそ加工所は、施設も老朽化し改修や建替えには多額の支出が予想されます。

また、みその年間の売り上げは赤字で、自然食普及センター全体では、年間1,000万円程度赤字を生みま

と思います。今後この事業を続けるならば、諸々の問題が発生します。

町長も、ここでみそ事業をどうするか判断する時期にきていると思いますが、町長のお考えは。

答 平松町長

養生みそは須恵町の健康づくりのシンボルです。その理念を私もよく理解しています。経営的な立場からいうと年間1千万円以上の赤字が出ています。施設そのものも老朽化し、新たに工場を建てるとなると食品衛生法も変わります。無菌室状態での稼働になるため、設備投資も含めて3億円程度かかると思います。

今日まで、食生活改善推進協議会の方々や町民の方々に支えられ取り組んできた養生みそですから赤字が出ているからやめますとは言えない状況で、私としても凄く悩んでいます。

がら判断したいと考えています。



三角 栄重 議員



親しまれて33年

残された時間は限られています。今後、これまでのデータを分析し、町民アンケートやこれまで関わってこられた関係者と慎重に協議を重ねな

どげんな っとうと？

一/般/質/問

6

5